

1 2月5日の陸別町の停電に対する帯広開発建設部の対応について

平成24年12月5日

- 陸別町に帯広開発建設部職員（3名）をリエゾンとして派遣し、情報収集を実施。
- 陸別町の要請により、住民避難の場合に備えて、「毛布30枚」を本部から搬送。
- 帯広開発建設部は、管内自治体支援のため、注意体制を発令。

1 北海道開発局現地情報連絡員（リエゾン）の派遣

- ・陸別町に帯広開発建設部職員3名を派遣し、情報収集。

【陸別町リエゾン情報】

- ・陸別町の停電の発生は、7時18分。
- ・10時10分に陸別町から「毛布30枚」の要請を受理。
- ・停電原因は、倒木が電線に接触したことによる。倒木は既に撤去済み（12時10分）。今後、電線への接近木を撤去後、通電を検討。
- ・住民避難を想定し、役場会議室及び保健センターに約50人から60人が避難できる場所を確保。
- ・北電から14時00分に復旧見込みとの連絡。
- ・送電線に異常がないことを確認し、13時25分に通電開始。
- ・13時40分に陸別町役場が町内全体の通電を確認。

2 支援物資等の貸与状況

- ・陸別町の要請により、住民避難の場合に備えて、「毛布30枚」を本部から搬送（12時05分）。

3 帯広開発建設部の体制について

【体制】

帯広開発建設部注意体制（9時00分）

【理由】

管内の自治体において停電が発生し、社会的影響が生じたため。

12月5日の陸別町の停電に対する帯広開発建設部の活動状況

1. 現地情報連絡員（リエゾン）の派遣（陸別町役場内での情報収集）



2. 支援物資（毛布30枚）の搬入



3. その他（国道の安全管理のための交通誘導の状況）

